



築20年の認知症対応グループホームの建て替えです。木造準耐火建築物として設計しました。燃えしろ設計により、通常より太くなった柱は大黒柱のような安定感を見せています。内装は可能な限り木を選定し、入居者の生活の場として豊かな空間を施主・施工者・設計者で目指しました。(細見・浜口)



障がい者福祉サービス事業所の移転新築工事です。利用者様の目線で利用しやすい施設を目指し計画しました。自然光を多く取入れ、明るく豊かな室内空間となるようにデザインしました。(細見・馬場)

グループホーム たんぽぽ長尾

建替工事

大阪府枚方市 21年3月竣工
施主 医療法人 みどり会
施工 タモツコーポレーション株式会社
木造地上2階建

障がい者福祉サービス事業所 ミルキーウェイ

新築工事

大阪府枚方市 21年3月竣工
施主 社会福祉法人 松樹会
施工 タモツコーポレーション株式会社
木造地上2階建



新型コロナウイルスで出かける機会がすっかり減ってしまったので、数年前の写真から...

日比谷にある日生劇場(設計:村野藤吾氏)です。中の写真は撮れませんでした。湾曲した天井や壁と、天井に埋め込まれたアコヤ貝の貝殻が海の中を連想させるようで、とても印象的でした。一度行ったきりですが、外観からは想像できないような内装だったのでよく覚えてます。またいつか気兼ねなく旅行に行ける日が来ることを願います。

中村 円香 Madoka Nakamura

Editors

富永 斉美 Hitomi Tominaga
浜口 直子 Naoko Hamaguchi
中村 円香 Madoka Nakamura

お問い合わせ・ご相談は

株式会社 京都建築事務所

〒604-8083
京都市中京区三条通柳馬場東入中之町10番地
TEL:075-211-7277 FAX:075-211-7270
ホームページURL <http://www.kyoto-archi.co.jp/>
メールアドレス info@kyoto-archi.co.jp



とれみ



（細見・馬場・波多野）

特別養護老人ホーム30床の増築工事です。既存建物を利用しながらの工事を果たす。既存建物を利用しながらの工事を果たす。既存建物を利用しながらの工事を果たす。



（細見・浜口）

これまでの松樹会様の高齢者施設での経験を踏まえ、より利用者様、職員にやさしい建物を目指しました。外観の色合いも、今までと同様地域の皆さまに寄り添いたいという思いのもと、やわらかい落ち着いた色を選定しました。

特別養護老人ホーム いこいの里

増築工事

大阪府枚方市 21年3月竣工
 施主 社会福祉法人 松樹会
 施工 タモツコーポレーション株式会社
 鉄骨造地上3階建

地域密着型特別養護老人ホーム いこいの里長尾 看護小規模多機能ホーム ながお

新築工事

大阪府枚方市 21年3月竣工
 施主 社会福祉法人 松樹会
 施工 タモツコーポレーション株式会社
 鉄骨造地上3階建

【特集】 幼稚園型認定こども園 大谷幼稚園・こども園

大谷幼稚園・こども園

福岡県久留米市 20年3月竣工
 施主 学校法人 久留米大谷学園
 施工 株式会社 栗木工務店
 木造地上2階建



外観 園庭より見る

設計趣旨

福岡県久留米市の幼稚園型認定こども園の幼稚園部分の建替え事業です。隣接するこども園園舎・真宗大谷派大谷会館は近年新築・建替えが行われ、幼稚園園舎はその2つとのつながりを意識し全体でより子どもたちが利用しやすくなるよう計画しました。

敷地は低層の住宅に囲まれた住宅地です。今回の設計では保育室、遊戯室、事務スペースを一軒の家のような形態とし、それぞれが一定の距離をあげながら集合するような構成となっています。一軒ごとの大きさは周りの住宅とほぼ変わらず、周囲に馴染むスケールとしました。

新園舎は木造とし、幼稚園部分の保育室は小屋組みを現しにして温かみのある空間にしています。新しくできた遊戯室には木の柱組が現しになっており、園児たちは屋内でもアスレチックのように遊んでいます。また、保育室や廊下、遊戯室などのそばに小さな居場所を設けています。DENや読書コーナー、ベンチ、大きな窓や小さな窓など、日々の生活や成長していく中で色々な発見や交流が生まれるようにそれぞれ違う特徴を持った場所にしています。

園庭は建替前より小さくなりましたが、屋上園庭を設け立体的に遊べるように工夫し、園庭ほどではない小さな遊び場を敷地の各所に散りばめるように計画しています。

（森下・富永・伊達）

大谷幼稚園が「第15回キッズデザイン賞」を受賞しました

<キッズデザイン賞とは>

「子どもたちが安全に暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、製品・サービス・空間・活動・研究の中から優れた作品を選び、広く社会に発信していくことを目的に創設されました。



上左:5歳児保育室
 上右:廊下突き当りのDEN
 下左:3・4歳児WC
 下右:遊戯室～礼拝室



voice

木の温かみや匂いが感じられる新しい園舎では、子ども達の元気な声が毎日聞こえてきます。登園後の自由遊びの時間には廊下や保育室内のDENなど、子ども達がお気に入りの場所で、それぞれの遊びを自由に楽しんでいます。

大谷幼稚園・こども園は昭和12年の創立以来、たった一度の移転改修のみで2019年まで運営してきました。老朽化した園舎にはある種の趣はあるものの、やはり安全面での不安が多く、大規模な施設整備を喫緊の課題としている中、認定こども園化を機に園児数や経営状況が安定したことと今回の園舎建設がスタートしました。補助事業であるため自治体との協議や工事期間の制限など課題はありましたが、設計監理のみにとどまらない京都建築事務所の皆様の様々なご尽力により、無事完成の運びとなりました。新園舎には小規模でアットホームな雰囲気を目指す園の方針が随所に反映され、天井が高く開放感のある保育室や、動物たちに囲まれた明るいトイレなど、園内のみならず見学等でお越しになる外部の方からも、「楽しそうな園ですね」とのお言葉をいただいております。2017年のプロポーザルから約3年間、大変なこともありましたが、楽しみながら“園舎づくり”に取り組むことができました。本当にありがとうございました。（園長 西村 亮 様）